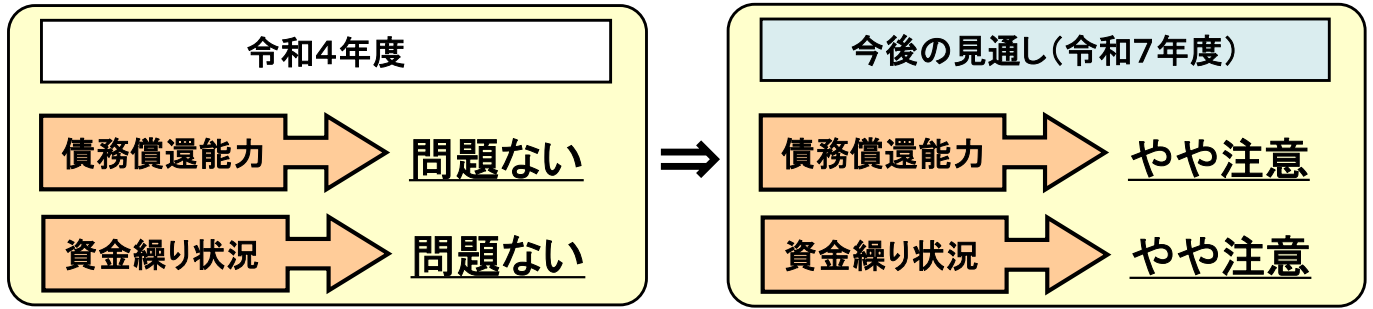


亀山市の財務状況把握結果(要旨)

(R. 12. 24 財務省 東海財務局)

総合評価



財務指標

矢印の方向が今後の見通しの方向性を表しています

指標	① 実質債務月収倍率 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)	② 債務償還可能年数 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$)	③ 行政経常収支率 ($\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$)	④ 積立金等月収倍率 ($\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)
問題なし	4. 8月 → 横ばい	4. 2年 ↓ 悪化		4. 9月 ↓ 悪化
やや注意	18.0月	15.0年	10.0% ↓ 9. 4% ↓ 悪化	3.0月
注意	24.0月		0.0%	1.0月

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

留意点

貴市は、液晶関連産業、自動車関連産業等の製造業を中心に多くの企業が進出しており、税収構造としては、法人税収の優位性を享受しつつも、景気変動の影響を受けやすい特徴が見受けられる。

直近5年間の行政経常収支(経常収入と経常支出の差)は、収入面において、市税収入が減少傾向で推移する中、支出面において、人件費や物件費、社会保障制度にかかる扶助費などが増加傾向で推移したことから、平成30年度の23億円から令和4年度には18億円まで減少し、財政調整基金を取り崩して対応している。

こうした中、貴市では、借入の増加を抑制しつつ、財政調整基金は目標とする「年度末残高20億円」以上を継続的に維持するなど、堅実な財政運営に努めてきた。

今後は、新庁舎建設事業等の大規模事業も予定されていることから、「財政構造改革骨太方針2024」に基づき、「聖域なき歳出削減」に取り組むことで「持続可能な財政構造への改革」を実現されたい。

財務指標の経年推移

※平均値は、いずれもR4年度

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 三重県 平均値
①実質債務月収倍率	4.8月	5.1月	5.0月	4.4月	4.8月	7.6月	6.1月	5.8月
②債務償還可能年数	3.0年	5.1年	5.0年	4.2年	4.2年	4.9年	4.2年	4.4年
③行政経常収支率	13.2%	8.3%	8.3%	8.8%	9.4%	13.6%	13.9%	12.8%
④積立金等月収倍率	5.8月	5.6月	5.2月	5.1月	4.9月	6.0月	7.5月	8.1月